

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書

		記入日	2018 年 6 月 28 日	
本学での所属学部・研究科	総合科学部	学部	3	年次 (留学開始時点)
派遣プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> HUSA <input type="checkbox"/> USAC <input type="checkbox"/> UMAP			
留学先大学	Toulouse Jean Jaures	大学	(国名：フランス)	
所属学部・学科等名	DEFLE			
在籍身分	留学生			
留学期間	2017 年 9 月 3 日 ~		2018 年 6 月 4 日	

1. 留学するまで

留学への志望動機・派遣先大学を希望した理由	フランス語上達のため 協定校の中で、トゥールーズが一番日本人が少ないと思ったから
留学準備を始めた時期 (応募する何か月前ですか?)	応募する1年前から、情報収集を始めたり語学試験を受験した
事前準備について (どのような準備をしたか、しておけばよかったか)	ネイティブとの交流や会話の機会を活用して、生きたフランス語に慣れておく

2. 渡航について

ビザについて	ビザの種類：長期学生ビザ
	ビザ申請先：フランス大使館 (東京)
	提出書類：パスポート、預金残高証明書、ビザ申請書、証明写真、大学の受入証明書 移民局提出用フォーム、現金 (50€分の日本円) 等 ※大使館のHP 参照
	手続きに要した日数：1ヶ月
その他必要な事前手続き	<ul style="list-style-type: none"> •ビザ申請に関して •CLE の申請 (住居関連の手続き) キャンパスフランスへの登録 大使館への予約
出国年月日	2017 年 9 月 3 日
経路 (往路)	広島 - 羽田 - パリ CDG 、 パリ ORY - TLS
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (大学関係者) <input type="checkbox"/> 無
到着後オリエンテーションの有無・期間・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (期間：2 週間程度 内容：授業のクラス分け、他の留学生との交流など) <input type="checkbox"/> 無
帰国年月日	2018 年 6 月 5 日
経路 (復路)	パリ CDG - 羽田 - 広島

3. 留学費用について

支出額	総額	150万	円	
	内訳	渡航費（往復）	20万	円
		ビザ申請手数料	6000 (50€)	円
		予防接種費用	0	円
		保険料	12万	円
		教材費（授業料以外の学費）	0	円
		宿舍費（住居費）	30万 (261€/mois)	円
		光熱費	0	円
		食費	10万	円
		通信費（インターネット・携帯）	2万 (19.90€/mois)	円
		交通費（宿舍－大学間）	1万 (10€/mois)	円
		交際費	10万	円
		その他（ 旅費）	40万	円
（ 雑費）	20万	円		

4. 授業・修学について

授業の概要について （カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等）	DEFLE という学部で、他の留学生や移民の人たちとのフランス語の授業 文法、スピーキング、ライティング、civilisation など 1 コマ 120 分、週に 8 コマ
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
授業・勉強についての アドバイス （留学前の履修、留学中、単位取得等）	オリエンテーション期間にフランス語の試験を受け、その結果で授業クラスのレベル分けをされるので、出来るだけ勉強しておく方が良い。 フランス人の学生のための授業は難しいので、履修登録するよりは大人数の授業に紛れて参加する機会が多い。
日本と異なる授業形態 などにおける困難や挑戦（ティーチングスタイル・先生と学生の関係性など）	日本人以外だいたい全員積極的に発言するので、怖気付いていると発言の機会を逃す。 遅刻が多く、時間通りに授業が始まらないことがある。

5. 生活等について

(1) 留学先の住居について

住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他（ ）		
住居の広さ	約 9 m ²	同居人の有無	<input type="checkbox"/> 有（ 人） <input checked="" type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他（ ）		

住居費	1ヶ月当たり (現地通貨) 261€	約 33000 円
留学先での住居全般に関するアドバイス	OFII 完了後 CAF 申請することで、月に 85€の手当がもらえる。CAF 適用後は、177€	
(2) 医療について		
保険の加入先	<input checked="" type="checkbox"/> 本学指定の保険 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学指定の保険 <input type="checkbox"/> その他 ()	
保険の補償内容	補償額 死亡 円、 入院 1 日 円 その他 ()	
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 (種類: 回数: 医療機関名:) <input checked="" type="checkbox"/> 無	
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	病院の事情はわからないが、薬は薬局で買える。しかし市販薬が商品棚に並んでいて自分で選ぶのではなく、薬剤師と相談しながらなので日本から薬を持って行くのが無難	
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	特に日本と変わらない。水道水も普通に飲めるが、お腹が弱い場合は様子を見た方が良い。	
(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと		
街の中心から遠くなるにつれて雰囲気は悪くなるが、だからと言って危険ではない、用事がないのでそのような場所に行くことはないと思う。スリには注意。		
(4) 食生活についてのアドバイス		
街のいたるところで開かれる朝のマルシェでは、野菜や果物がスーパーよりも安く買える。日本の調味料や食材は、Tokaido Ya という店でほぼ全て手に入る。フランスの料理や食材が耐えられないほど口に合わないことはないと思うが、万が一そうであっても日本の料理、レストランを見つけるのに苦労しないし、日本に馴染みのあるファストフード店もある。		
(5) 気候・服装についてのアドバイス		
気温は日本とあまり変わらないが、湿度が低いのでフランスの方が過ごしやすい。春から秋にかけての紫外線がかなり強いので、夏服は必須。冬は、普通は西条よりはるかに暖かく雪も降らないが、私のいた時には雪も降ったし寒かった。服装は西条で着る服で事足りる。		
(6) 学内外の施設・設備環境について (インターネット環境含む)		
学校と寮には wifi があるが、街にはほぼ無い。学校には食堂の他に、近くにサンドイッチ屋やケバブ屋が立ち並んでいる図書館はキャンパス内にもあるが、街の図書館の方が寮から近く、便利。		
(7) 現地学生や地域との交流について (どのような、機会・きっかけがありましたか?)		
Ôkin という日本人学生とフランス人学生が交流するイベントを企画するアソシエーションがある。フランスに着いてすぐの頃は暮らすための準備を手伝ってくれ、その後も ôkin を中心にフランス人の友人を増やした。毎週開かれる Bla Bla Langue というイベント (詳細は Facebook) には様々な国籍の人が集まり、フランス語を話す良い機会だった。		
(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと		

<p>トゥールーズの人はフレンドリーで人との距離も近く、街やメトロやバスで話しかけられることもあるが、警戒しすぎて避けるような行為は失礼なので注意。お店やレストラン、銀行、郵便局などでの店員への挨拶は絶対に欠かせない。 (Bonjour. / Merci, bonne journée, etc)</p>
<p>(9) 日本から持っていくべきもの、持っていきべきでないもの</p> <p>無くしたら困るものや高価なものは持っていきべきではない。 携帯の充電器の予備などもあるといい。(フランスで買って、2回壊れた) 重大な症状がなければ、基礎化粧品やシャンプーなどは、環境に合わせて作られているので現地の物を使う方が良い</p>
<p>(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス</p> <p>フランスの学生ビザを持つ25歳以下の人は、美術館や歴史的建造物への入場料などが無料になったり割引が適用されるので、活用すると良い。</p>

6. 帰国後の進路について	
卒業予定年月	2020年 3月 (当初の卒業予定年月 2019年 3月)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input checked="" type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に)
現在の状況および今後の予定・進路等	第2タームから授業に参加。 一学年繰り下げて、就職活動を始める。
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	4年で卒業する予定なら、単位は留学前に全て取得しておくべき。就職活動は滞在中から始めることは不可能では無いが、力を入れにくいし集中できないと思うのでおすすめできない。

7. 留学準備、留学中に役立つ書籍、ウェブサイト等		
書籍、サイト名	詳細(出版社、URL等)	コメント
Campus France	http://www.japon.campusfrance.org	フランスに住むにあたって重要な情報(銀行口座の開設の仕方、行政手続きに関して)などを提供している。

8. 後輩へのメッセージ
フランス、が好きなら恐れずに留学に旅立ってください! 充実した毎日と、素敵な文化が待っています。

9. 自由記述 (1,200字程度)

9ヶ月の留学生活は、あっという間に過ぎてしまいました。フランスの文化も人々も、時間が経てば立つほど魅力が増し、滞在中は日本を恋しく思う間も無く充実した日々を送ることができました。ここでは大学の様子と日々の生活を中心に、私の留学生活を振り返ります。

Toulouseには、日本人とフランス人の交流の為にOkin(桜莖)という活動グループがあります。Okinに所属するメンバーのほとんどが日本語学科の学生で、到着後すぐ、入寮、銀行口座の開設、行政手続き、携帯電話の契約などを手伝ってくれ、たくさんのイベントを企画してくれます。Okinの活動に参加すれば他の日本人留学生とも出会うことができます。留学が始まる前にOkinからメールが届くので、ぜひ頼ってください。

授業は9月の最終週から始まりました。それまでにテストを受けて、その結果で授業のグループが振り分けられます。授業内容はDELFD/DALFの試験に合格するようにプログラムされています。またジャンジョレス大学は歴史、哲学、音楽、人類学などの専門で様々な授業が開講されていますが、試験に合格するのは難しいと思ったので履修登録せずに大人数の授業に潜り込んで、リスニングの練習のつもりで参加していました。

フランス語の授業は全てフランス語で行われるので最初は少し大変でした。特にAnnee2以上のクラスだと前年度以前から在籍している生徒も多く、クラスメイトの授業中の発言に対する積極性や語学力に気が滅入ることもありましたが、それがモチベーションにも繋がりました。しかし大学はインプットの時間なので、授業に出席するだけでなく、アウトプットの時間を作ることが大事だったと思います。現地の人との交流のチャンスは逃せません。

フランスに住むことは、人生観や価値観、また、自分の性格に大きく影響を及ぼしました。滞在中に大規模なストライキが何件か起きました。SNCF, AIR FRANCE, La Poste, 街中を走るメトロやバスにとどまらず、学校でも起こりました。学校は封鎖されて、それに伴って最後の3ヶ月は授業が行われませんでした。フランスに長期間いれば必ず一度はストライキを経験すると思いますが、いつでも解決策があることや、「ここは日本では無い」ことを忘れずに対応することが大切だと学びました。良くも悪くも、日本ではありえないことばかりです。

またフランス人と付き合う上で大事なことは、意見をはっきり言うことでした。日本人の美徳や謙虚さは通用しない場面がとても多かったように感じます。フランス人が集まると時折政治の話に花が咲いたりしましたが、どんなに難しいテーマにも、意見を求められることが多かったです。それからフランスにはたくさんの外国人が住んでいるので、意見も価値観も人種も言語も多様でした。さらに様々な差異は受け入れられていたので、「異文化理解」を身近に感じ、今まで考えもしなかった課題に向き合い、自分の視野を広げることができました。

留学で得たものは、目的だった語学力の向上だけではありませんでした。フランスは想像していたよりも居心地がよく、留学前に描いていた将来のイメージは大きく変わりました。成果にこだわって留学の意味について考えていましたが、自分が「外国人」になる環境に身を置くことや日本には存在しない価値観に触れることで、目に見えない変化が知らず知らずのうちに起こっていました。留学を終えた今、どの国も一長一短、完璧な国はないと感じていますが、将来フランスに住みたいという希望もより強くなりました。とは言っても卒業後はまずは日本で就職活動をする予定で、情報収集はFrance Alumniという機関にて、フランス語と留学の経験を活かせる企業を探してみるつもりです。



赤い街並みが特徴 La Ville Rose「バラ色の街」と呼ばれています。



街の中心を流れるガロンヌ川のほとりには人が集まります。

注1) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HUSA ホームページおよび広島大学ホームページへの掲載、事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます(氏名及び学生番号については、非公開とします)。ただし、公開にあたり不適切と判断された内容については、国際交流グループにて削除等させていただきますので予

めご承ください。